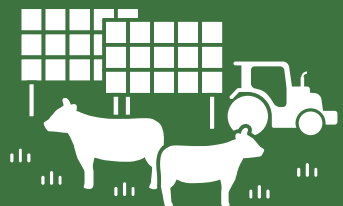


垂直式太陽光発電を活用した 積雪地域における牧草地の持続可能な利用に関する実証研究

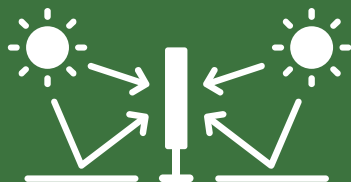
酪農学園大学と自然電力は、垂直式太陽光発電を積雪地域の牧草地に設置することで、牧草の生育に必要な日射量を確保しながら、太陽光発電を行う実証研究を行っています。これにより、牧草地の有効利用と再生可能エネルギーの普及を同時に促進することを目指します。また、太陽光発電は化石燃料に依存しない再生可能エネルギーであり、温室効果ガスを排出しないエネルギーの創出を通じて、持続可能な農業の実現に貢献します。



牧草地に設置できる



雪が積もりにくい



日射・反射光で両面発電できる

本実験場にて実施する研究

- ◎「垂直式太陽光パネル設置状況下における農作業効率の変化に関する研究」
(酪農学園大学 農業経営学研究室 吉岡徹教授)
- ◎「垂直式太陽光パネルの設置がチモシー優占草地の生産量に及ぼす影響」
(酪農学園大学 家畜飼料学研究室 土井和也講師)
- ◎「垂直式両面受光型太陽光パネルの北海道江別地区における牧草圃場での発電評価」



再生可能エネルギー 発電設備	区分	太陽光発電設備
	設備名称	酪農学園大学圃場 No.3 太陽光発電所
	設備所在地	北海道江別市文京台緑町569番 51/569番 52
	発電出力	DC 79.36kWp / AC 40kW
再生可能エネルギー 発電事業者	氏名	自然電力株式会社
	住所	福岡県福岡市中央区荒戸 1-1-6
	連絡先	092-753-9834
保安点検責任者	氏名	学校法人酪農学園 施設課
	連絡先	011-388-4117
運転開始年月		2023 年 12 月

○本設備は自家消費型太陽光発電設備であり、固定価格買取制度（FIT制度）の対象外です。○本設備はFIT制度に基づく揭示義務はありませんが、発電設備であることを明示し、適切に事業を実施するために事業情報を掲示しています。



注意：発電設備には近づかないで下さい
Caution! Keep away from the power plant